



高木たけし



みよし剛史

発行：日本共産党
福山市議会議員団
津之郷町津之郷 970-1
084-952-2662

高齢者の暮らしの要望実現

補聴器助成・乗車券増額

市民の声を届け 市政を動かす

福山市は、一人当たり2万5000円の補聴器購入費用を助成する制度を行うことを明らかにしました。対象は65歳以上で、医師から補聴器の必要性を認められた人です。

また、75歳以上の市民税非課税の人へのおでかけ乗車券を、年額3千円から5千円に拡充します。

この理由について、16日の本会議で市長は、「高齢者が外出し、地域や人とのつながりを持つことは、フレイルや認知症の予防に有効」と説明しました。

これまでに「補聴器の公的助成を求める会」からは、

補聴器購入助成を求め、合計で2599筆が提出されており、福山市議団は要望を議会でも要望を取り上げ、制度の実現を求めています。

おでかけ乗車券についても、市議団が行った市民アンケートで増額を求める声が非常に多く、福山市では高齢者の移動の支援が大きな課題となっていることを繰り返し指摘してきました。

市民の暮らしの実態を議会に取り上げることが、施策の実現への最も大きな力となります。

安心の暮らしを実現へ、重要な前進となりました。



3園を1園に集約化!?

手城幼・あけぼの保を廃止

ニーズ調査ずさん 目的は未耐震問題

8日に行われた民生福祉委員会で、現在のあけぼの幼稚園へ手城幼稚園とあけぼの保育所を統合し、(仮称)あけぼのこども園を整備する考えが報告されました。これに伴い、統合される2園は2027年度末で廃止されることとなります。

この整備計画について、市議は、「保護者のニーズに沿った整備なのか」、「なぜ大きく離れている手城幼稚園が統合の対象となるのか」と質したところ、ニーズについては「新たに整備される施設の定員で現在の利用は対応できる」、手城幼稚園については「施設の老朽化が問題となっている」と答えました。

しかし、廃止される手城幼稚園の保護者には事前の説明は行われておらず、地域の



統合の対象となった手城幼稚園(市HPより)

保育ニーズは把握されていませんでした。

また、手城幼稚園、あけぼの幼稚園については耐震化が行われていないことが問題となっており、その解消のために、遠く離れた手城幼稚園が対象とされた背景が浮かんできます。

多様な保育こそ 集約化の根拠とされている

「再整備計画」は策定からすでに9年が経過しています。少子化対策の中で、多様な保育ニーズへの対応こそが求められており、廃止は見直すべきです。

介護保険料も大幅引き上げを提案

基準額を年額7400円増

「第9期福山市介護保険計画」において、24年度から3年間の介護保険料を、基準額で7400円増、年額7万7800円の大幅引き上げが提案されました。前期計画では保険料は「据え置き」だったため、6年ぶりの引き上げが確定です。

世帯所得が620万円以上の所得区分の階層を5段階に細分化し、上限額も引き上げるかが大きく問われます。

「第9期福山市介護保険計画」においても、「負担能力に応じた設定」と説明しますが、年間の保険料収入は約10億円増加することが見込まれており、負担が大幅に増えることは明らかです。

一方で23年度末時点で会計のため込み金は約11億円が見込まれています。

逼迫している年金生活者の状況を市政がどう見ているかが大きく問われます。

3月議会日程

傍聴にお越しください

2月	16日	金	午前10時から	本会議
	21日	水		議会運営委員会
	26日	月		本会議 (代表質問・一般質問)
	27日	火		
	28日	水		
29日	木	常任委員会		
3月	1日	金	午後1時	予算特別委員会
	4日	月		
	5日	火		
	6日	水		
	7日	木		
	8日	金		
	13日	水		議会運営委員会・本会議

市議団一般質問は2月29日(木)

詳細は、別途折りこみチラシ、市議団HP (<http://www.f-jcp.com/>) でお知らせします。

傍聴される方は、市役所 議会棟5階受付へお越しください。